磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣磐城市渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人 比佐不二夫

チケット御利用下さい

洋服と洋品は
はちや
小名浜本通り

磐城市豫算成立

市名變更は市長預り

出ず終いの化物不信任案

午前に引續き午後一時三十分再会された磐城市議会才五回定例本議会は遠藤(財務)阿部(文教)吉田勝(總務)の各委員長が登壇、委員会附託の市條例の審議経過報告を行い質疑應答があつて、それ〳〵原案を可決したが文教委で豫算措置三十六万円〃の見通しが立たぬと云う理由で否決された▽磐城市奬學資金貸與條例は議会側から将来のため條例を設定せよと多数決により、同議案二十号を制定した　續いて遠藤勝馬氏から提出された▽磐城市職員退職手當支給條例設定についての一部修正案は同議案第十二号一〜四項迄の退職手当支給の率分をそれ〳〵國家公務員並に準ぜよと市財政の緊迫から修正を要望したが、起立採決により多数決で原案を承認した

終つて二十九年度豫算審議に入り、各部委員長から審議報告があり活潑な質疑、討論の後新年度歳入出豫算二億一千五百萬円を原案一部修正して議決した

終つて橋本佐多壽氏を発議者に旧小名浜選出十六議員から▽磐城市を小名浜市に變更する市名動議案が上提されたが〃合併していまだ三ヶ月に何事だ〃と江名議員團は猛然と反對の声をあげ、小名浜地区議員との間に激論が展開されたが、同案はその處置を立花市長に一任し、午後七時四十分才五回定例市会の全日程を終り閉會

巷間に噂され、終始傍聽人を緊張させ続けた議長不信任案、市長不信任案は何れも不問に附された形で何の波瀾もなく無事散會となつた

市名變更動議案同意者は次の通り

▽提出者橋本佐多壽

▽同意者　小林仁一郎、飯塚勝、長瀬啓一、鱗社大一、木田谷平、金澤勉、鈴木イセ、石井幸平、松原文吾、佐藤耀兵衛、吉田倉雄、瀧内進　小林七郎、飯塚新四郎　以上十六氏

常磐磐城両教委で懇談会

鹿島三部落学童委託問題

鹿島分村三部落の學童磐城市依託問題は、屢々物議の種となつていたが、常磐、磐城両市教育委員は十五日午後二時から磐城市小名浜公民館に會合してこの問題の解決をはかるため懇談会を開いた

同問題は去る七日の磐城市教育委員會に協議案として上提されたが結論を下すに至らず、結局常磐市側の誠意のもとに事の解決に當ろうと待たれたもので、政争の渦から子供を守る誠意のある人道的解決の導出が切望されている

マルトヒの運動服装

審議の焦點

磐城市二十九年度本豫算審議に當つて論点を集めた諸問題にはまず土木委員會附託の小名川尻、木橋新設工事一五万九六〇〇円にむけられ、同橋が第二中學校　上神白に通ずる木橋の腐朽を他目にその目先の小名浜マーケット前に架けられる点をつき(飯塚勝氏)、その現場を見ての審議か、小泉橋から小名浜高に通ずる悪道よりもこの木橋に重要性があるか(阿部東鄕吉田倉雄氏)と鋭くつくが菅原委員長は審議權外とつつぱり、理事者に發言權なしと奇妙な議事運營でウヤムヤ

▽厚生委員会關係で公營住宅が縣割当の七十四戸を半分返上して三十七戸一八二八万一〇〇〇円と出している点をつき、割当返上は今後の施策に支障となる(菅原議員)、不足豫算操作に住宅金融公庫利用の路なしや(金澤議員)も結論なし

▽總務委員会附託の市役所費中特別職三役の報酬を市長六萬を五万五千圓に、助役四万五千円を四万三千円に、収入役三万八千圓を三万五千圓に夫々値下げ断行?したととに論議が沸トウ、加えて坂部議員が江名は五百六万カブつていることの償いを補正豫算で必ずつけろと豫算中江名關係費用は歳入四四四一万円に対し歳出は三九三五万であり、そのうち事業費は千萬円余であると力説したため議場は脱線混乱したが本論にもどり三役ばかり値下げして議員に手をつけぬのはどうした譯か(小野務平議員)、三役を値下げして十二万はしをヤりくるよりも議員を一萬円づつ値引きすれば九二萬圓が浮き上る(小野幸次郎議員)と非を鳴らせば　そんなことは人氣取りのゼスチユアーだ(大津議員)と反駁が出るなど活發を極めたが結局委員会修正案が可決された

▽財務委員會附託報告では源泉徴收義務者一俸給生活者」に対する還附金を全市一律に原案は七%と出しているに對して磐城市勞協は過般十%引上げを陳情したが委員会もこれなとりあげ十%と決定したが、市當局は財源處置を不可能とした爲結局八%引上げに修正、一〇%の財政處置は市長一任と報告

從來は小名浜が七%、泉は三%、江名は漁夫を除き十三%を還元金渡辺は行わつていない

これに對し納税組合に對する還附はどうか「飯塚勝議員」などの質疑も行われたが、それを十%に引き上げると云う意見もなしに委員会修正通り八%で可決

▽最後の文教委員会關係では條例を制定しながらも豫算の裏付けが忘れられた(事務局が忘れたとのこと)奬學資金三十六萬が二十万円でもよい豫備費から繰込んでも豫算化せよ(竹田議員)と喰い下つたが議長は提案權を侵害するものととりあわず輕くいなされてケリとなり　傍聽人は譯がわからず(議員中に五里霧中の御仁がいた由)しまいに二十九年度磐城市歳入出な豫算が目出たく誕生した

市連青に才一歩

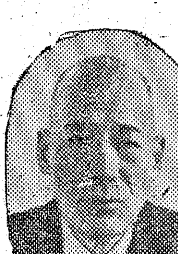
十八日より規約草案の起草

磐城市内の各青年団体を統合して新たに市一本の適合組織を結成しようとする磐城市青年会結成準備会第一回委員会は各地區から選出された二十名の委員が参席して十四日午後七時から小名浜公民館で開かれた

「海の玄関

小名濱を語る」

立花市長マイクに立つ



磐城市長立花秀吉氏は豫算市会を無事終了してホッと一息きの二十日朝七時十五分からNHKのマイクを通じて「海の玄関小名浜を語る」杉田アナマとの對談を放送する事になつた

この放送は十九日午後一時から平スタジオで録音される事になるが、冷害を心配されながらも爭えぬ夏の郷愁は海にそそられる折柄、磐城七浜を一手に握る海の市長として更に大竹知事をして只見の次は小名浜だと云わせているミナト小名浜の新生磐城市初代市長として老練な体験からほとばしり出る抱負に耳がかたむけられる

教科書選擇を協議

磐城市教委

磐城市教育委員会は十四日午後一時から市中央公民館日本間に齊藤教育長はじめ全委員が出席、教科書選擇の件を議題に委員會をひらき協議した

錦で教育講演会

錦町では役場、公民館共催で教育技術連盟理事長野瀬寛顯先生を招き、十六日午後一時三十分より同公民館日本間に於て「これからの教育と父母の心得」と題する教育講演会を催す

富士名刺は ナガセ

運營審議會

湯本公民館

常磐市湯本公民館の第三回運營審議会は、十七日午後一時より同館で開き各部会報告、館報編集の經過報告及び石城地方第二方部公民館連協の件につき協議される

湯本公図書部会

常磐市湯本公民館の少年圖書部総会は、十七日午後二時より同館で開き本年度よりの運營、行事計畫を審議する

『河童』の批評会

常磐市青文協文藝サークル〃クララ〃では来る十八日午後七時より湯本公民館で、芥川龍之介作「河童」の文学鑑賞及び批評会を開く

いゝ鯛放鯛

▼新聞とかけて宴会後の膳と解きその心は〃アラバカリ〃とか……▼戒能通孝をして生きいることが馬鹿々々しいと云わせている新聞の十五日號は心中事件が四件も並んでいる(毎日新聞)、八千六百万の人間のうち、五人や十人の人間が死んだとて日本の興亡には痛痒も感じないが、政治の心中自殺行爲は止めてもらいたい▼十四日の磐城市会から一齣づつでも拾つて見ても坂部(江名)議員は詳細な数字をあげて江名は五百万カブつている　との償をつけろとガン張る▼阿部泉議員が小名浜公民館長手当が千円高いとスネる▼市名變更問題で江名と小名浜選出議員が眼に角をたててアワやを思わせる▼その心底に意識すると否とを問わず流れるものは地域差感、部落根性であり、太磐城市などは畫餅にも等しい錯覺を起させる▼こんな部落根性の對立による差違え心中などはまつぴら御免です▼片やが議長不信任案、片やが市長不信任案をと懐中双で對峙する差し違え心中をプラス、マイナス零にさばいた長瀬議長の腕は一讃に價する▼もつとも本心は死にたくない適中だが馬鹿に双物位の危險性は多分にある▼兎に角市民は心中なぞ澤山です、一人で死んで下さい、太平洋にはフタがありません

時代劇2本立
14〜17日
肌に咲かせた櫻の花が散って
白刃の大嵐
血ざくら判官
片岡千恵蔵 三浦光子
雪の函変化 第三部
東千代之介 喜多川千鶴
復讐の劍
同時上映
小名浜 キンビ舘

チケット歡迎
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前 電二[illegible]
雨もまた樂し旅行に通勤に
絹レインコート一四〇〇円
雨靴五〇〇圓より各種荷揃
洋傘にビニール張り登山帽
毎年今月が一番安い
ノ年の生地は丈夫で安い
夏向白ハンドバツク手提
ボストン旅行セツト抱鞄
野球帽登山帽鳥打ミルキ
男女運動着とトレズボン
おつとめに丈夫な開襟を
雨には雨靴レインコート
ブラウス夏手袋スカート
夏向ナイロンテーブル掛
婦人子供靴サンダル各種
化粧品柳屋メヌマ ジユジユ・ウテナ } 80円
ちどりフトン綿
經費をかけずに良い品安く

器物 建築資材 大工道具
農業用具 スコップ
ツルハシ類
小泉金物店
磐城市本町七 電三二二

隨時入院
産科
婦人科
白鳥醫院
小名浜臨港駅前
電話七三五番

紋名
戒入
盆提灯
みはるや菓子卸店
磐城市中島本通り電話七七七
大津三国や提灯店出張謹製

無競争當選四二氏

磐城市農業委 泉にも無競争の動き

全國農業委員の選挙はあす十六日午前六時から午後五時迄各地で一齊に行われるが、農政の推進体ともいわれる同委員会の選擧は驚くばかり低調を物語り各地とも無競争当選が全般の改選風景でもある

磐城市農委選は合併町村區毎に執行と決定、去る六日届出を締切つたが、泉を除くほかは小名浜十二名、江名、渡邊、鹿島各十名と定員数が立候補して無競争當選と決定した

泉地區は十五日正午現在定員十名に対し届出十四名で無競争の動きもあるが結局は有權者一千八百名により改選が行われる

（磐城市農業委員当選者氏名）

◇小名浜（定員十二名）

無所屬 新 高萩次四郎（三八）同馬目武彌（五九）同上遠野新平（三八）同松原文吾（五八）同 現 遠藤英德（五一）同 現 箱崎吉平（四九）同 現 草野武（四三）同新 村上重一（六〇）同新 田子菊雄（五六）同吉田義雄（五九）同新 小泉敏夫（四七）同新 小野和男（三八）以上十二名

◇江名（定員十名）

無所屬 作山彌作（四四）同中山隆彦（六三）同吉田原茂重（六四）同小川國司（五九）同吉田長次（四三）同片寄金男（四〇）同馬目行保（五一）同田中穰（五八）同作山行延（四七）同酒井直惠（五三）以上十名

◇鹿島（定員十名）

無所屬 鈴木重孝（六二）同鈴木金藏（六一）同志賀耕一（五四）同高萩一良（四〇）同草野好文（四三）同新妻一行（四七）同高木長（五〇）同波立森（四九）同佐原政雄（四四）同新妻重喜（四九）以上十名

◇渡辺（定員十名）

無所屬 永山保孝（五三）同高木米次（六〇）高木孝一（三六）同瀬谷一晃（四六）同久保木吉士（五二）同根本操（五〇）同高木勇（四六）同高木長（五七）同澤田正幸（四五）同柴野吉一（四四）以上十名

◇泉（定員十名）立候補十四名

▽有權者 一千八百名

▽投票所 泉小学校講堂

無所屬 吉田倉雄（五四）同吉田儀四郎（六一）同鈴木與太郎（五三）同佐藤進（五九）同水野利一（五五）同佐久間秋夫（四九）同佐藤耀兵衛（五三）同伊藤仲次郎（六一）同江尻巖平（五六）同瀧内進（四六）同江尻利雄（四五）同鈴木孝平（六三）同吉田祐忠（五〇）同下遠野武（四七）以上十四名

植田も定員に二名が増

植田町農業委員立候補は締切の十五日までに定員を二名過乘し、十二名の届出が有つた

立候補者は次の通り

古和口雅男、丹野與次平、酒井勇、渡邊巳之松、豊田豊、櫛田喜作、鈴木輝次、須田稔、藤田重男、水野富夫、富岡大五郎、大平洋

老朽校舎審査会

石城地方文教施設整備審査会は十六日午前九時半より平オ一小に各地教委教育長、各小中學校長らが出席して開かれ、老朽校舎の改新築について協議される

新人花澤が参加

あす「講演と映畫の会」

新しい映画技術に成つた「黒潮の女」「少年船長」二つを提つさげて小名浜劇場に公開される「講演と映畫の会」は岸旗江、神田隆初の当市入り講演もと人氣を呼んで、海に生きる磐城市民必見の映画だといよいよ明後十七日に迫つた開演を前にしてこの機會を逃がすまいとする人々で飛ぶように前賣券が賣れているが、十四日の講演者の一人であつた神田隆突然京都ロケで出發して支障が出來、代つて新人としてメキメキ人氣を押上げている花澤德ヱが岸旗江と共に颯爽と來市することになつたため、俄然人氣と期待が沸騰している

花澤德ヱは〃狂宴〃「ともしび」「赤い自轉車」等に出演して近代人の感覺をそのまま畫面にブッつけた演技に驚異の眼をみはらした新人目下「太陽のない街」撮影に出演中であるが神田隆の事故のため、特に一日をさいて磐城市小名濱劇場に開催の生協主催、水素、社民ク、本社後援の「講演と映畫の会」に臨場するもの

なお主催者側では突然開催を前に講演者の一人が變更になつたことを恐縮しているが、よりよくなつたとで勘辨して貰いたいと云つている

飛び込んで助ける

常磐署佐藤さんを表彰

常磐市字三函土建業佐藤一雄（五二）さんは、去る十一日午前九時半ごろ同字成田山下の防火用溜池に転落した同字福祉事務所勤務金土順二さんの四男宗弘（六）ちやんを着衣のまま飛込み溺死寸前を救助した佐藤さんを近く常磐署では人命救助で表彰する

「光りの花束」

照明コンクールに予想懸賞

磐城市港まつり行事の一環として小名浜商工会を中心に東北電力、磐城市役所が都市明粧に放つ光りの花束照明コンクールは、全市主要商店の意匠を凝らす照明施設が着々進められ、十九日参加申込みが締切られ、二十二日から市役所、東北電力商工会、磐日各審査員の豫備審査を經て二十四日本審査の上晴れの入賞者が決定するが、主催者側では、この發表を前に果して「どの商店の照明が入賞するか」一般市民から次の要領で懸賞募集を行うこととなつた

▽入賞一、二等の商店名の正解者を当選者とする

▽当選者には賞金各壱千円を與える

▽締切り二十四日午後六時まで商工会到着のもの

▽用紙は磐城日日二十三日附新聞に刷込みのもの

▽發表は同紙二十六日附新聞紙上

▽賞金授與は同日照明コンクール入賞者と同時に行う

鮫川で水防訓練

植田土木監督所では十四日午後一時より錦町大字江栗地内で水防演しゆうを行つた

これは水害期を目前に控え治水豫算の僅少な事に打勝ち、すい害を最少限度に食止める事をすい防団の身に付けるため催されたもので、鮫川の氾乱によつて年々菊多地區一番のすい害地とされている江栗地内呉羽用すい取入口附近においての、決死的な演しゆうは戦場を思わすようなすさまじさだつたが、作業度もこれに比して見る間に護岸などが築かれた

愛の一品寄贈を

小名商工會で呼びかけ

磐城市小名浜商工会（会長草野庄平氏）では「社会を明るくする運動」期間中の行事として、愛の一品寄贈を会員の協力を得て行い、市内各商店より衣類、食料品、圖書等数多くの品物が寄贈されたので、近く福祉事務所を通じて矯正施設に入所している、薄幸な青少年達に贈呈慰問することになつた

ワイシャツ 洋服
都服装店
磐城市小名浜電五五三

猫ババ発覺して御用

十三日午前九時三十分ごろ常磐市字下浅貝無職佐藤安蔵（二四）は、同市三函地内で字榮田文房具商成田麗美さん發行の常陽銀行湯本支店振出し額面一萬円の小切手を拾い捌下げようと同銀行に行つたところ銀行員があやしいとにらみ電話で常磐署に連絡、佐藤は拾得物横領現行犯で同署員に檢擧され十五日身柄送検

汽笛

「愛」は理論より實踐

十四日の日暮れどき、磐城市の片隅で惹起された人生寸劇「社会を明るくする運動」の關係者や、言葉だけを弄ぶ議員さんたちには是非見て貰いたかつたと目擊者はいう

所は小名川沿いの道路中学生の子が流した片方の下駄が事件の発端

拾つて來いと愛児を叱るその母きんつばやさん

いやだと應ぜぬ子、「新しい下駄を何故拾わぬ」と逃げる息子を櫻並木の堤防まで追詰めて、打つ、蹴る、なぐるの御ちよう擲、見兼ねた通行の婦人が中に入つての仲裁も聞かばこそ――

どうなることかと心配する連れの婦人の三つの子が、この時ドブンと小名川深く轉落して水中に消えた

当才の子を背負つたままその母はイキナリざんぶと飛び込んだが、乳まで深い川の中、きんつば屋の婦人も思わず飛び込んで溺死寸前幼児救出に成功した

勿論これで下駄騒動も雲散霧消、「愛」は理論でなく実践行動だと言いたい

「傍路人」

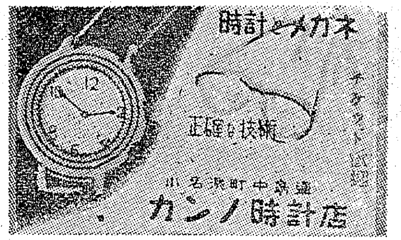
天氣豫報 16

「本日」北のち南東の風晴れたりくもつたりの天氣

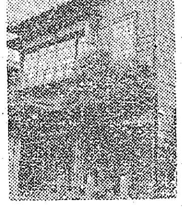
「海上」多少風波が出ましよう

魚菜市況 15

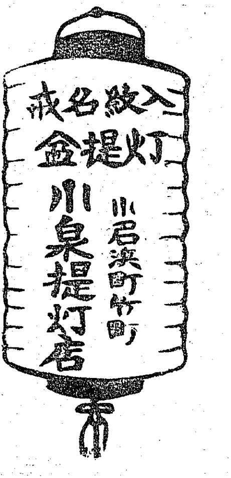
たまご一一〜一二、四〇ねぎ九五玉ねぎ三五〜四七にんじん八五〜九五ごぼう一二五〜一五五ばれいしよ四〇〜四五さつま一二〇大根一〇〜八二たまな五五〜六五きうり四〇〜九五なた豆一〇〇〜一八〇かぼちや二〇〜九五なす二四〇〜二七〇とまと四〇〜一五〇

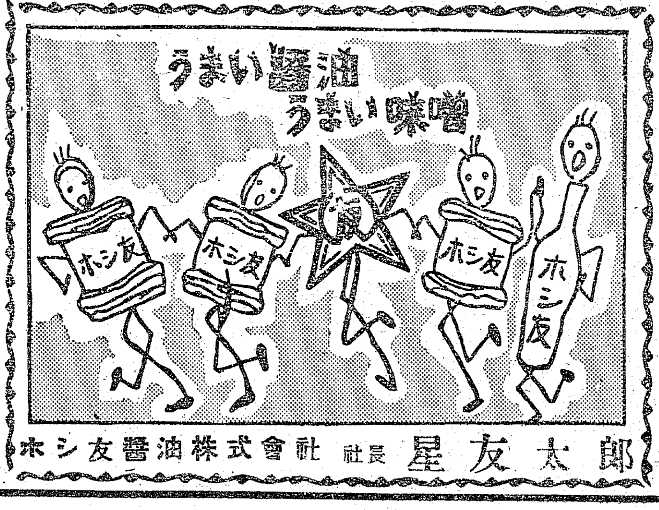

時計とメガネ
正確な技術
小名浜町中央通
カンノ時計店

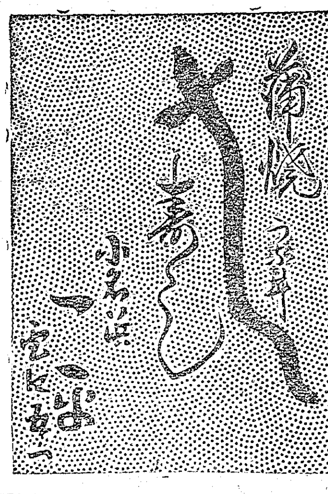
椅子張り替並に修理
三光椅子店
磐城市後宿22


御商談に 御休憩に
静かなお座敷を
大ノ旅館
磐城市沖見町
電話三七番

印刷は……
パンフレット チラシ
雑誌
その他
磐城市洛町51 ナガセ 電219


戒名紋入
金提灯
小泉提灯店
小名浜町竹町


うまい醤油
うまい味噌
ホシ友
ホシ友醤油株式會社 社長 星友太郎

映畫と講演會
新進スター 岸旗江（母なれば女なればの主役） 神田隆 が講演
七月十七日 午後一時 午後六時 晝夜二回 小名浜劇場にて
上映映画 黒潮の女（岸旗江主演 共に海に生活する人々の見逃せぬ名画）
少年船長（文部省撰定）
（前賣券 小名浜市内各店にあります）
主催 小名浜生活協同組合